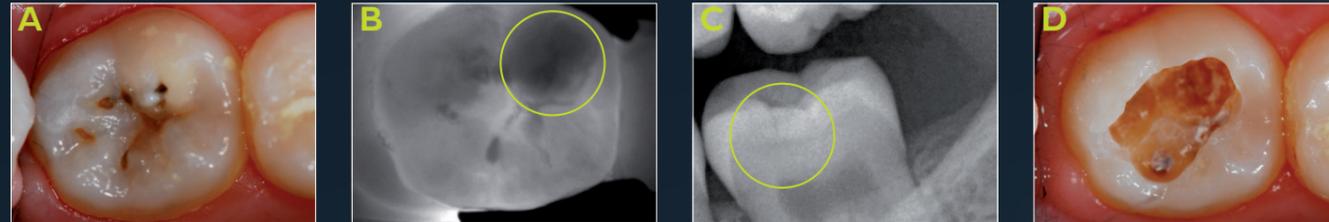


KaVo ダイアグノカム 臨床症例

KaVo ダイアグノカム 所見例と臨床症例

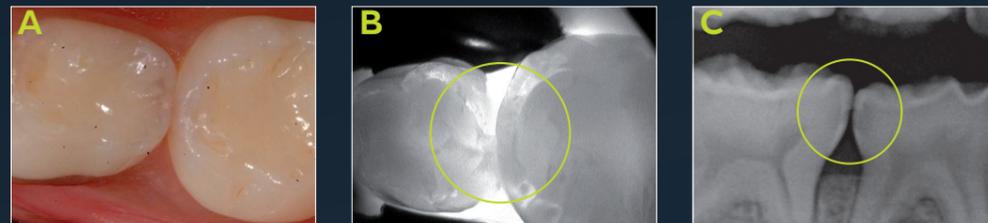
視診	ダイアグノカム	X線	治療・処置方法
----	---------	----	---------

大白歯における咬合面カリエスの診断（不顕性う蝕）



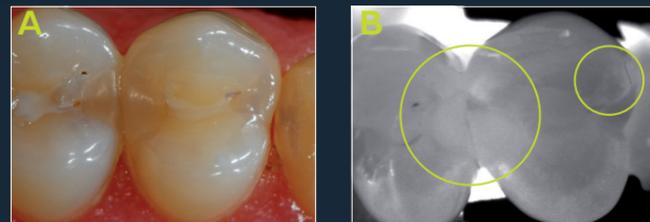
- (A) 大白歯（37番）に複数の局所的なエナメル質穿孔がある明確な咬合面カリエス病変が認められます。
- (B) ダイアグノカム画像では、陰影として近心頬側咬頭部に脱灰が認められます。
- (C) 咬翼X線画像では、進行した象牙質病変が認められます。
- (D) う窩開拡時に活動性病変ならびに下部へのカリエスの広がりが認められます。

乳臼歯の隣接面カリエスの診断



- (A) 74番と75番の乳臼歯の隣接面の視診では、74番の遠心側にのみう蝕病変が認められます。
- (B) ダイアグノカム画像では、75番の近心側および74番の遠心側にエナメル象牙質に陰影が認められます。乳歯はエナメル質層は非常に薄く吸収過程にあるため透光が低下します。そのため、乳歯の診断は難しくなります。
- (C) 咬翼X線画像では、象牙質を含むう蝕病変が両臼歯に認められます。

大白歯におけるフィッシャーシーラントおよびコンポジット充填



- (A) 大白歯（36番）広範囲なフィッシャーシーラントは、ダイアグノカム画像 (B) では、不透明で明瞭な陰影として認められます。近心舌側咬頭に (A) ではコンポジット充填が見られ、ダイアグノカム画像 (B) では明瞭な陰影として認められます。

販売名：ダイアグノカム 一般的名称：歯科診断用口腔内カメラ 認証番号：225AIBZX00028000 管理医療機器



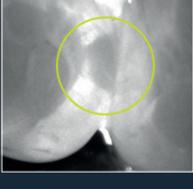
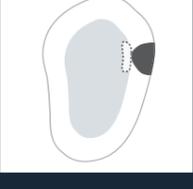
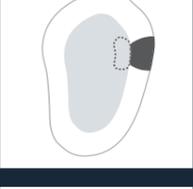
KAVO
Dental Excellence

カボデンタルシステムズ株式会社

本社 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481
 札幌支店: Tel.011-716-4694 Fax.011-716-4692 仙台支店: Tel.022-772-7375 Fax.022-772-7376
 東京支店: Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481 名古屋支店: Tel.052-238-1146 Fax.052-238-1567
 大阪支店: Tel.06-7711-0450 Fax.06-7711-0451 福岡支店: Tel.092-441-4516 Fax.092-472-1844
<http://www.kavo.jp>
 VICPJB1906V2 INS-085

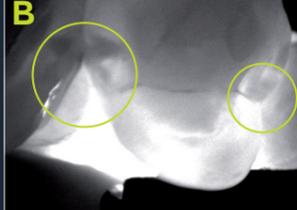
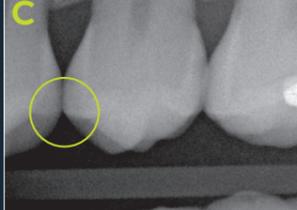
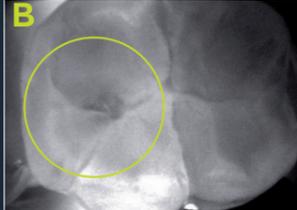
KAVO
Dental Excellence

KaVo ダイアグノカム 所見例

画像の説明	ダイアグノカム	病変部の範囲	治療・処置方法
健全な歯の表面			経過観察および予防処置
隣接面のエナメル質カリエスの初期の徴候			う蝕の経過観察 (モニタリング) および予防処置
隣接面のエナメル質カリエス			う蝕の経過観察 (モニタリング) および予防処置
エナメル象牙境に接触した隣接面のエナメル質カリエス			う蝕の経過観察 (モニタリング) および予防処置
歯表面のエナメル象牙境と面接触した隣接面の象牙質カリエス			MI 治療
進行した隣接面の象牙質カリエス			MI 治療 *

(象牙質内に広がっていると考えられます。)

KaVo ダイアグノカム 臨床症例

視診	ダイアグノカム	X線	治療・処置方法
小臼歯における隣接面カリエスの診断			
			
<p>(A) 視診では、小臼歯にカリエスは認められません。 (B) ダイアグノカムでは、近心面および遠心面双方にエナメル象牙境を含まないエナメル質カリエスが認められます。 (C) 咬翼 X 線画像では、この撮影条件では近心面のう蝕は認められませんが、遠心面にはエナメル質カリエスが認められます。 (D) 予防処置と同時に、ダイアグノカムを用いたカリエスの経過観察を行います。</p>			
小臼歯における隣接面カリエスの診断			
			
<p>(A) 小臼歯 (15 番) の視診では、咬合面の褐色化以外にう蝕病変は認められません。 (B) ダイアグノカムによる画像は、広範囲の陰影が見られ、すでにエナメル象牙境に達しています。 (C) 咬翼 X 線画像では、象牙質の内側半分までう蝕病変が進行しています。 (D) ダイアグノカムによる画像と咬翼 X 線画像の方法で診断されたう蝕病変部の拡大範囲は、充填治療中の窩開拓時に確認された拡大範囲と一致しました。</p>			
大臼歯における咬合面カリエスの診断 (不顕性う蝕)			
			
<p>(A) 大臼歯 (46 番) の咬合面の視診では、カリエスが原因である変色などを示す明確なエビデンスは認められません。 (B) ダイアグノカムによる画像では、中央部の裂溝部の遠心領域に陰影が認められます。 (C) 咬翼 X 線画像でも透過像として認められます。 (D) う窩開拓時に象牙質カリエスが認められます。</p>			

* 咬翼 X 線での撮影を行うことにより象牙質のう蝕の範囲もより評価しやすくなります。
 予防処置：ブラークコントロール、フッ素塗布、カリエスインフィルトレーション (隣接面の初期齶蝕に対してカリエスの進行を停止させる治療法) など